

「道の駅あつみ移転整備事業」 地域拠点の形成と地域振興

～持続可能なまちづくりの推進～

令和6年3月15日

鶴岡市建設部都市計画課

鼠ヶ関IC周辺施設整備推進室

◆高速道路の整備状況

山形県高規格道路

日沿道

【秋田県境】

●令和6年3月23日
遊佐比子～遊佐鳥海

●令和7年度
小砂川～象潟

●令和8年度
遊佐象潟道路
遊佐鳥海～小砂川

【新潟県境】

朝日温海道路
朝日まほろば
～ あつみ温泉
全長 40.8 km

(内県内区間 6.7 km)

●供用時期未公表



高速道路整備の進捗状況 令和3年5月30日現在

	全国*		東北6県		山形県	
	延長 (km)	比率 (%)	延長 (km)	比率 (%)	延長 (km)	比率 (%)
予定路線延長	11,520	100	1,882	100	341	100
基本計画延長	10,623	92	1,791	95	287	84
整備計画延長	9,428	82	1,436	76	242	71
供用延長	10,156	88	1,736	92	264	78
うち高速自動車専用道	9,090	79	1,416	75	222	65
うち高速自動車専用道に準ずる一般国道自動車専用道路	1,066	9	320	16	42	12

* 国土交通省「国土交通省 国土利用政策課」より

東北中央道
●令和3年度
大石田村山～村山

●令和4年度
泉田道路
新庄北～昭和

●令和4年度
村山北～東根北

中央道 新庄まで開通

●令和7年度 (⇒ 延期)
新庄金山道路
昭和～金山

日本海沿岸東北自動車道 朝日温海道路(山形県内6.7km)

朝日温海道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送路の確保、高速ネットワーク形成による第三次救急医療施設へのアクセス性の向上、日本海側における交流・連携強化を図ることを目的とする道路。

○トンネル5箇所 ⇒ 完了:1箇所、施工中:2箇所

○橋梁3箇所 ⇒ 下部工完了:1箇所、下部工施工中:1箇所

一般国道7号 朝日温海道路 延長L=40.8km

県境～あつみ温泉 延長L=6.7km



- 事業箇所：新潟県村上市～山形県鶴岡市
- 事業着手：平成25年度
- ※令和5年度事業費：3,450百万円

<令和5年度実施内容>

- 調査設計
- 改良工事
- 橋梁工事
- 用地補償
- トンネル工事

出典：地理院地図に道路情報等を追記して記載

【道の駅導入機能・コンテンツ】

道の駅

• 道路休憩機能

駐車場、トイレ（24H利用可能）

• 情報発信機能

道路情報、観光情報の発信

• 地域連携機能

鮮魚等産直物販施設、飲食施設（地元の食）

▶ 防災機能

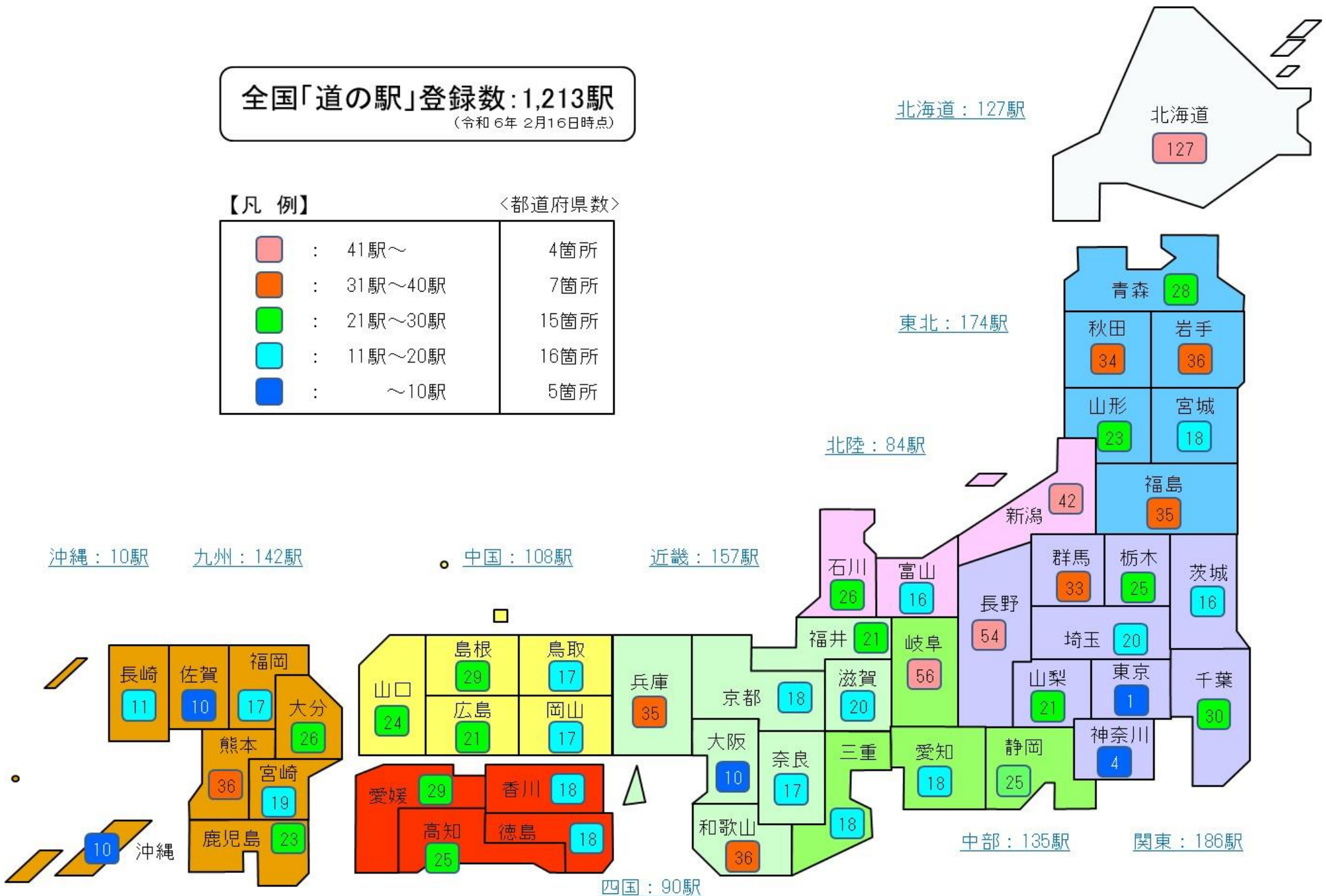
地域住民、道路利用者の一次避難、広域防災中継拠点

全国「道の駅」登録数: 1,213 駅

(令和6年2月16日時点)

【凡例】 <都道府県数>

■ (Pink)	: 41 駅～	4 箇所
■ (Orange)	: 31 駅～40 駅	7 箇所
■ (Green)	: 21 駅～30 駅	15 箇所
■ (Cyan)	: 11 駅～20 駅	16 箇所
■ (Blue)	: ～10 駅	5 箇所



【山形県の状況】

やまがた道の駅ビジョン2020 (H28.3)

18駅 ⇒ 30駅へ

観光振興、産業振興『やまがた創生』へ

■全国 1,213箇所 (R6.2登録数)

■山形県 23箇所

最上町 令和5年11月23日新規オープン

山形市 令和5年12月3日新規オープン

遊佐町 令和9年度 移転オープン予定

あつみ 令和9年度 移転オープン予定

新庄市 新設予定

村山市 移転予定 (東北中央道)

東根市 新設予定 (県道大森工業団地)

【参考：類似施設】

(H30年度入込客数)

庄内観光物産館 (1,017)

酒田夢の倶楽 (山居倉庫) (705)

よってけポポラ (東根) (539)

産直めぐり (497)

白糸の滝ドライブイン (352)

【入込客数】 (H30年度入込客：千人)

ふらっと (2,216)

米沢 (1,701) . . . ※重点道の駅

チェリーランド (1,097)

川のみなと長井 (491)

わくわくランド (天童) (451)

むらやま (421)

めざみの里観光物産館 (406)

. . . ※防災道の駅 (いいで)

あさひまち (381)

花笠の里ねまる (370)

しゃりん (279)

月山銘水館 (259)

ぶな茶屋

しょうない

観光やな場

田沢

たかはた

おおえ

物産館マイデル

高麗館

月山あさひ博物村

【移転整備事業の目的】

- 地域拠点の核（コア）として整備し、
持続可能なまちづくりを推進
- 快適に満足度高く、暮らし続けることができる鼠ヶ関地区の価値向上（QOLの向上）
- 地域で稼ぐ仕組みの構築



地域振興拠点

情報発信の新たな拠点

鶴岡・庄内・山形のゲートウェイ
鶴岡の豊富な食文化・食資源を紹介

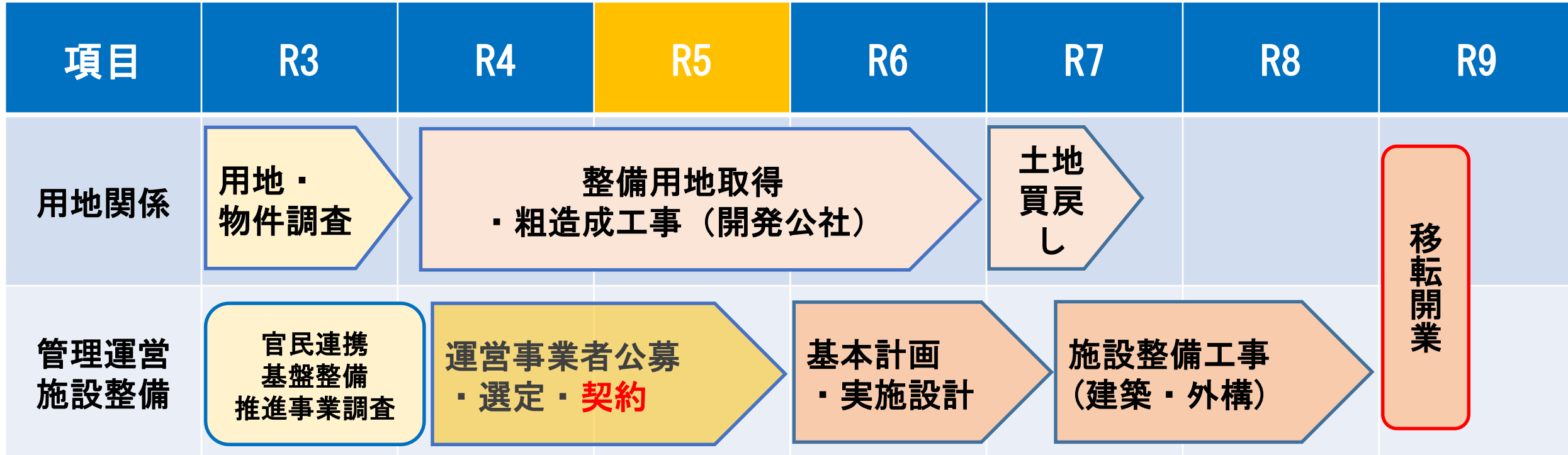
集客・交流の新たな拠点

日沿道の供用
交通量 約1.8倍 (5,887台 ⇒ 10,600台)
観光客の受入拠点

地域産業の新たな拠点

鼠ヶ関港の魚貝類
あつみ温泉・マリンアクティビティ
伝統文化・歴史

【全体スケジュール】



- ・ 令和4～7年度 用地取得、粗造成工事
- ・ 令和4～5年度 民間事業者選定
- ・ 令和6～8年度 事業者による施設整備
- ・ 令和9年4月 開業予定

【施設テーマ】

**鼠ヶ関・温海・鶴岡の“旬”をつないで、
手軽に、いつ来てもワクワクする道の駅**
**農林水産物の生産状況が「少量多品種」という
地域の特徴を逆手に取り、「食のゲートウェイ」として
鶴岡の食文化の豊かさを紹介する道の駅**

※ 地域振興の拠点として、この地域にふさわしい道の駅は？

⇒ アンケート・ヒアリングを通して取りまとめ

- ・ 農林水産業や地元団体、観光業などの関係団体（42者）
- ・ 道の駅利用者等（1,800名）

【道の駅あつみ移転イメージ】

※ R3調査時点



食文化創造都市
鶴岡

■敷地面積	約2.1ha (約1.3ha)
■建物面積	約1,700m ² (約1,300m ²)
■駐車場他	約1.7ha (約1.15ha)
■入込客数	70万人/年 (30万人)
■目標売上高	5億円 (3.5億円)
①産直物販	3.5億円 (2.3億円)
②飲食	1.5億円 (1.2億円)

事業手法：DBO方式【官民連携による整備】

設計・・・デザイン
建設・・・ビルド
運営・・・オペレート } 包括で委託

※R3「官民連携基盤整備推進事業調査」により検証

■官民連携手法のメリット

- ・概算事業費（整備費及び維持管理費）
- ・使いやすい施設整備
- ・民間のノウハウ・創意工夫
- （特産品販売、飲食、加工品、新商品の開発等）
- ・中期的な経営計画で運営

⇒ **性能発注**

【選定経過】 令和5年5月17日 総合評価一般競争入札 公告
令和6年1月10日 落札者グループ 公表

落札者グループ： 夕陽コミュニティ

代表企業

株式会社庄交コーポレーション

株式会社羽田設計事務所

鶴岡建設株式会社

構成企業

株式会社佐藤工務

株式会社マルゴ

ブレンスタッフ株式会社

日本海の自然と食の遊びのテーマパーク“あつみ”

■【目標】

道の駅「あつみ」は、東京・首都圏から関越自動車道、日本海東北自動車道を約400km走行して、はじめて『**日本海に手が届く道の駅**』として、日本海の台所で食してもらい、日本海の夕陽の美しさに触れ、摩耶山系、月山、日本海のアクティビティの起点となる道の駅を目指します。

■【目的】

道の駅あつみを整備し、温海地域を中心とした庄内南部、新潟県山北地域が広域連携し、それぞれが持つ**地域資源**（海、山、里のもの）、**地域の魅力**（自然や景観、風習）を**最大限に有効活用**したサービスを提供し、地域住民の生活が豊かになり、**地域が持続可能**となることを目的とします。

【基本的な考え】

①大型屋外遊具のある宿泊もできる子ども遊び場

“親子3代家族連れで楽しめる道の駅”

②“自然体験、庄内観光の南玄関口となる道の駅”

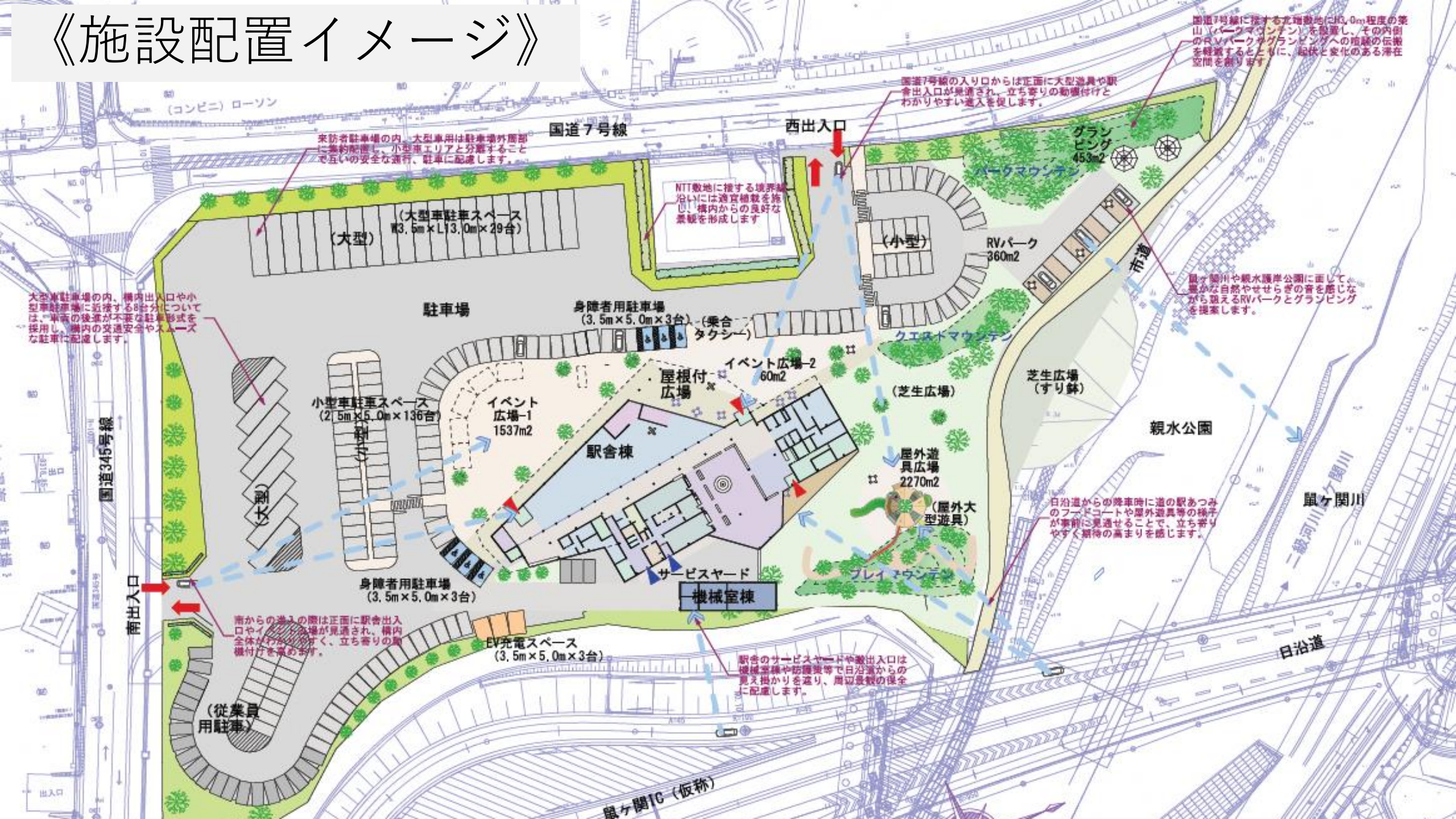
③“日本海の台所 海山の6次化商品を

地域住民が生み出す道の駅”

【要求水準 + 提案内容】 モニタリング（監視）により履行確認

項目	要求水準	提案内容
トイレ	男女別基数、ベビーチェア、擬音装置、ハンドドライヤー、パウダーコーナー、給湯 24Hトイレと地域振興トイレを集約・一体的整備可	24Hトイレと地域振興トイレ、従業員用トイレを分散して整備。 基数は、図面により確認。 その他仕様は、実施設計時に確認。
駐車場	大型 29台 小型 98台（身障者6台、E V 3台を含む） 自動二輪 8台	大型 29台 小型 136台 身障者6台 E V 3台 従業員他用 24台
地域振興 地場産品提供	<ul style="list-style-type: none"> ・主として本市・及び周辺地域で生産された農林水産物（生鮮品、加工品）等の販売に努めること。 ・地域振興に寄与するよう、地元食材を中心とした飲食サービスの提供に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在3000品の販売実績があり、仕入れ営業力をもって、温海地域をはじめとした鶴岡市の商品を中心に庄内地方の商品を主に販売。 ・あつみ旬菜会など生産者との出荷者協議会、販売はテナントに委託。 ・紅エビ庄内北前ガニに特化したテイクアウト寿司や加工品の販売、地元漁業関係者による実演販売 ・水産加工物の店頭販売、地元飲食店と入居調整中
道路休憩施設 滞在時間 集客の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・繰返し施設に訪れ、長く滞在したくなる ・地元との協働・連携による積極的なイベントの実施 ・地元の人々も気軽に立ち寄れる憩いの場 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子3代家族連れで楽しめる道の駅 ・屋外大型遊具、子ども休憩スペースの運営 ・現在の道の駅、観光施設イベント等の企画・実施 ・6次化商品開発の専門家とのワークショップ等

《施設配置イメージ》



(コンビニ) ローソン

国道7号線

西出入口

来訪者駐車場の内、大型車用は駐車場外周部に集約配置し、小型車エリアと分離することで互いの安全な通行、駐車に配慮します。

NTT敷地に接する境界線沿いには遊具植栽を施し、構内からの良好な景観を形成します

国道7号線の入り口からは正面に大型遊具や駅舎出入口が見通され、立ち寄りの動機付けとわかりやすい進入を促します。

国道7号線に接する北端敷地にH3.0m程度の築山(パークマウンテン)を設置し、その内側のRVパークやグランピングへの植栽の伝搬を軽減するとともに、起伏と変化のある滞在空間を創ります

大型車駐車場の内、構内出入口や小型車駐車場に近接する区分については、車両の後部が不要な駐車形式を採用し、構内の交通安全やスムーズな駐車に配慮します。

鼠ヶ関川や親水公園に面して豊かな自然やせせらぎの音を感知しながら眺めるRVパークとグランピングを提案します。

駐車場

身障者用駐車場 (3.5m x 5.0m x 3台) (集合タクシー)

(小型)

RVパーク 360m²

市道

クエストマウンテン

国道345号線

小型車駐車スペース (2.5m x 5.0m x 136台)

イベント広場-1 1537m²

イベント広場-2 60m²

(芝生広場)

芝生広場 (すり鉢)

親水公園

(大型)

身障者用駐車場 (3.5m x 5.0m x 3台)

駅舎棟

屋根付広場

屋外遊具広場 2270m²

(屋外大型遊具)

日治道からの降車時に道の駅あつみのフードコートや屋外遊具等の様子が事前に見通せることで、立ち寄りやすく期待の高まりを感じます。

南出入口

南からの進入の際は正面に駅舎出入口やイベント広場が見通され、構内全体がわかりやすく、立ち寄りの動機付けを促します。

EV充電スペース (3.5m x 5.0m x 3台)

サービスヤード

機械室棟

駅舎のサービスヤードや出入口は機械室棟や防音壁等で日治道からの見え掛かりを遮り、周辺景観の保全に配慮します。

(従業員用駐車)

日治道

鼠ヶ関IC (仮称)

鼠ヶ関川

日治道

出入口

《建物平面イメージ》



24h 玄関に近接して屋根を設置、降雨降雪時の開催や各種販売等立ち寄り安く、賑わいます。

24h オープンの園施設は、玄関そばに近接して集約配置し、地域振興施設の閉館時の管理のしやすさ、利用のしやすさに配慮します。

イベント広場と物販スペースとの間に軒下を利用した麻木スペースを巡らし、カフェや休憩、販売スペースとして活用します。

イベント広場から麻木越しに物販内部が見通され、内部の様子や活気が伝わることで、来訪者を内部に誘引します。

管理事務室から屋外遊具広場やプレイマウンテンが目視できる配置で、子どもの見守りと万一の場合の速やかな対応に配慮します。

フードコートから屋外遊具広場やプレイマウンテン、親水護岸公園等が見通され、子どもたちのあそびや自然観を楽しみながら過ごせる空間です。

駅舎北西端にある24hWCの対角上に地域振興施設WCを設け、南面駐車場からの来訪者の利用のしやすさに配慮します。

ゴミ庫	(自家発)	(受変電)
外物置		

《外觀イメージ》



《フードコートイメージ》



《農林水産物・物販施設イメージ》



《道路・観光情報コーナーイメージ》



《子ども休憩スペースイメージ》



《屋外大型遊具イメージ》



《その他イメージ》



移転開業に向けて取り組んでいくこと

～これまで培ってきた温海地域の財産をしっかりと引き継ぐために～

項目	市	地域	運営事業者
鼠ヶ関、温海地域のイメージ戦略・ブランド力の向上	しゃりんでの水産物販売実証イベント実施の支援 地域振興事業の実施	鮮魚販売への参画 加工品の販売・品揃え イベントの実施	自然体験 庄内観光の情報発信 (HP, SNS, アプリ) イベント等の企画・実施
地元人材の育成・参画	道の駅しゃりんの組織強化 ・人材育成 ・雇用の引継ぎ	雇用 おもてなし	雇用の引継ぎ スキルアップ・教育
地元産品の活用	納入ネットワークの引継ぎ 産直組織活動支援 水産物販売実証実験	飲食（地元産品の提供） 水産物の充実（加工品含む） 旬菜会への参画 出荷体制の準備	地元・市の食と文化の発信 出荷者協議会(事務局) 産直施設の運営(委託販売)
新商品の開発	道の駅での販売 6次化加工支援	新商品開発（トライアル）	6次化商品加工スペース 商品開発支援・指導 テストマーケティング

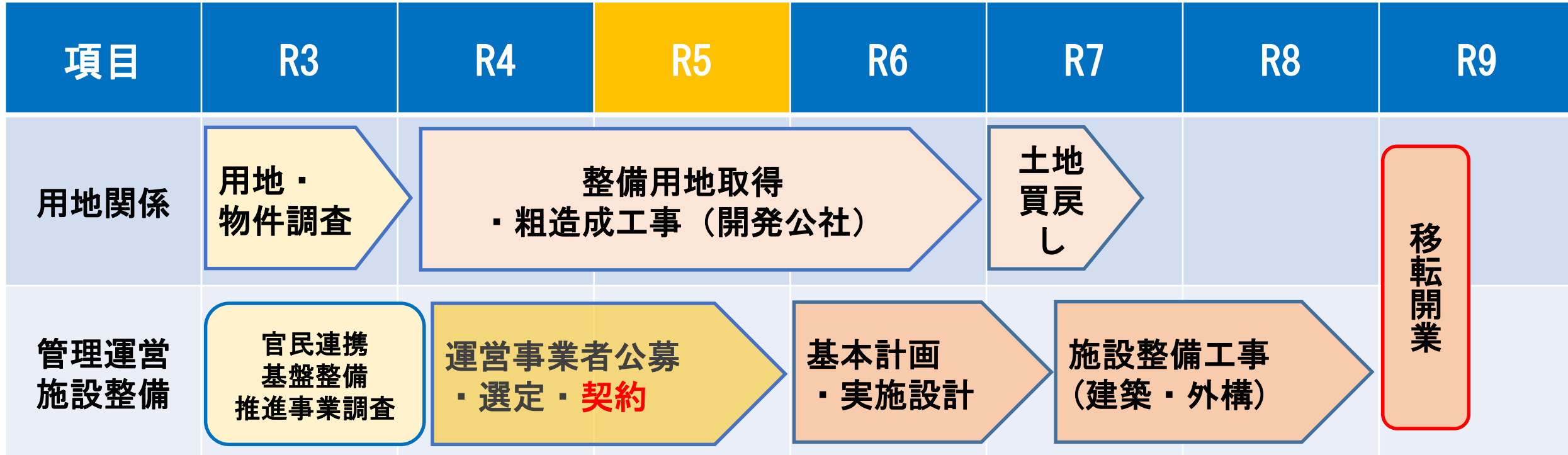
※日沿道の延伸≠地域活性化。道の駅の移転整備を契機として、地域全体で取り組んでいくことが重要。



令和5年度実施 しゅりんでの水産物販売の実証実験



【全体スケジュール】



- ・ 令和4～7年度 用地取得、粗造成工事
- ・ 令和4～5年度 民間事業者選定
- ・ 令和6～8年度 事業者による施設整備
- ・ 令和9年4月 開業予定

～ ご清聴、ありがとうございました。～

